

現場の気づくチカラ

お客様の困り事は、最前線で働く現場の人たちが最も肌で感じている。それを象徴するように、現場ならではの気づく力で、「ありそうでなかった」商品が新たな市場をつくり出している。革新的な発想はどのように生まれたのか。

取材・文 稲泉 連

Case
1

素人目線でゼロから作った “スーツに見える作業着”

洗濯機で手軽に洗え、どんな仕事のシーンにも対応できる「スーツに見える作業着」が、急速に売り上げを伸ばしている。出発点は現場社員がもらした、ある“ボヤキ”。そこに気づいたのが中村さんだ。



株式会社
オアシス
スタイルウェア

東京都港区

代表取締役

なかむらありさ
中村有沙

工事現場や清掃作業のスタッフ
といえ、作業服で働く姿が一般
的だろう。その「常識」をスー
ツに見える作業着「WWS/ダ
ブリューダブリューエス」という商
品によって、覆^{くつがえ}そうとしている企
業がある。オアシススタイルウエ
ア——三年前の設立以来、急拡大
しているアパレル会社だ。